

目詰まりしない固液分離装置

スリットセーバー



スリットセーバーとは？

“3つ”の機能を兼ね備えたハイブリッドモデル

01 固液分離機構

固液分離装置とは、一般的に工場排水処理・畜産施設汚泥処理、そして産業排水処理時のし渣除去・汚泥濃縮で用いる設備です。従来装置は濾過部が目詰まりしやすく、処理能力を維持する為には定期的に逆洗浄水を用いて目詰まりを解消する必要があります。この問題を解決する為、弊社が開発したのがスリットセーバーです。独自のセルフクリーニング機能により逆洗浄が不要であり、低LCC(ライフサイクルコスト)、導入コスト軽減、省スペース化に成功しました。

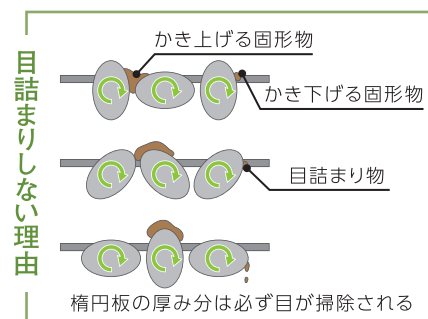
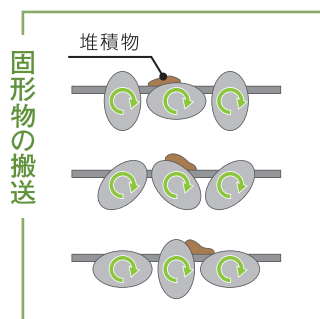
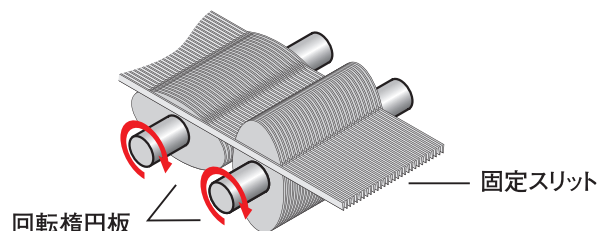
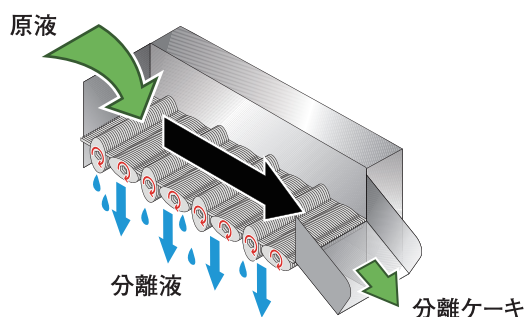
02 汚泥濃縮機構

例えば生物処理による発生した99%の余剰汚泥であれば、機械的作用によって含水率を90-98%程度に濃縮することができます。脱水機構にある、簡易圧搾方式を用いることで、88-92%までの高濃縮も可能です。

03 汚泥脱水機構

スリットセーバーは「汚泥脱水機」としても使用可能です。独自の圧搾方法で汚泥の含水率を下げることで、排出汚泥量を削減します。また、排出ケーキは堆肥、セメントの原料としてリサイクルされる事例もあり、3R(Reduce・Reuse・Recycle)に貢献します。

構造



■ 安定した処理能力

スクリーン部を常にクリーニングすることによって目詰まりによる処理能力の低下を招きません。

■ 省スペース

最小装置の設置面積0.2㎡以下

■ かんたんメンテナンス

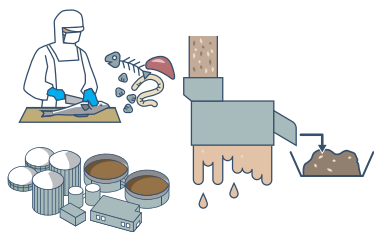
シンプルな構造のため、メンテナンスも容易です。

■ 低ランニングコスト

最小装置の消費電力は0.06kWと小さく、稼働中の洗浄水はゼロです。

用途事例

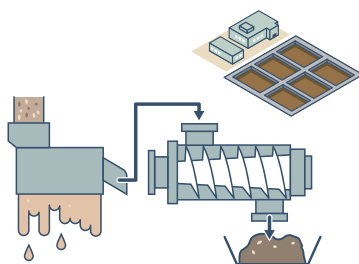
夾雑物除去



- ・水産加工
- ・酪農パーラー
- ・養豚
- ・養鶏
- ・メタン発酵後消化液

- ・食品残渣
- ・グリストラップ
- ・野菜屑洗浄排水
- ・ポリプロピレン

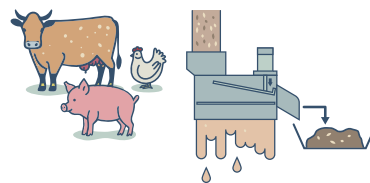
濃縮



- ・し尿
- ・下水汚泥
- ・余剰汚泥
- ・コロイダルシリカ

- ・グリストラップ
- ・養豚
- ・染色排水

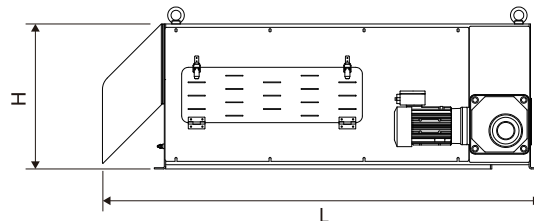
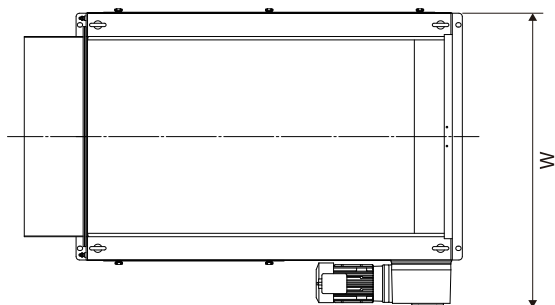
脱水



- ・各種余剰汚泥
- ・養豚
- ・酪農
- ・猿舎
- ・食品、飲料工場
- ・水産加工場
- ・繊維染色工場

- ・中間処理場
- ・化学工場
- ・リサイクル工場
- ・飼料製造工場
- ・集落排水処理施設
- ・自動車製造工場
- ・機械部品工場

スリットセーバー寸法表



固液分離・濃縮

※参考1 簡易圧搾板を外した濃縮処理量になります

型式	公称処理幅 [mm]	楕円板列数 [列]	汚泥処理量※参考1 [kg-DS/h] (清水換算参考値: m³/h)	モーター [kW]	機器重量 [kg]	外寸 [mm]
SN-38	280	8	30(15)	0.2	60	W 585 - L 971 - H 435
SN-412	380	12	55(30)	0.4	250	W 685 - L 1307 - H 435
SN-612	580	12	100 (45)	0.4	290	W 885 - L 1307 - H 435
SN-712	680	12	140 (50)	0.75	730	W 1134 - L 1946 - H 700
SN-912	880	12	200(65)	0.75	820	W 1334 - L 1946 - H 700
SN-1212	1180	12	300(144)	0.75	970	W 1634 - L 1946 - H 700

※処理能力は簡易圧搾板を使用しない重力濃縮時の参考値となります。

※寸法・電気容量・機器重量はあくまで参考値であり、予告なく変更になることがございます。

